

## 製品安全データシート

作成・改訂 2014年4月9日  
整理番号 06-003

製造元 サンデーペイント株式会社  
住 所 大阪市此花区西九条6-1-124  
(大日本塗料(株)内)  
電話番号 06-6466-6700  
F A X 06-6466-2751

---

[製品名] 簡易防水塗料(1液性タイプ)(ライトグレー、グリーン)

---

[物質の特定] 単一製品/混合物の区別 : 混合物  
化学名 : アクリル・スチレン共重合体水性エマルジョン  
成分 : アクリル・スチレン共重合体、水、顔料、体質顔料、分散剤、  
消泡剤、防カビ剤、珪砂、凍結安定剤

---

[危険・有害性] 外 観 : 各色液状エマルジョン  
危険性 : 常温では引火しない。(消防法非危険物)  
有害性 : 特になし。わずかに刺激臭あり。  
国連分類 : 非該当  
PRTR 法指定化学物質 : 非該当  
安衛法通知対象物質 : 非該当

---

### [応急処置]

#### 皮膚に触れた場合

汚染された衣類・靴等を速やかに脱ぎ捨てる。触れた部分に水又は微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼を用いてよく洗い落とす。汚染された衣類は、容器等に密封して廃棄する。

#### 目に入った場合

清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗浄の際、瞼を指で開いて瞼・眼球の隅々まで水がよく行きわたるまで洗う。コンタクトレンズを使用の場合には、固着していない限りは取り除いて洗浄を続ける。

#### 大量に吸入した場合

被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。呼吸が弱い場合は衣類を緩め、呼吸気道を確保した後人工呼吸を行う。身体を毛布等で蔽い、保温して安静を保ち、直ちに医師の手当てを受ける。

#### 飲み込んだ場合

水でよく口の中を洗わせる。可能であれば、指を喉に差し込んで吐き出させる。直ちに医師の手当てを受ける。

---

## [火災時措置]

### 消火方法

初期の火災には、粉末消火薬剤・炭酸ガス・乾燥砂等を用いる。大規模火災には、泡消火薬剤・炭酸ガス等を用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災のときは、周辺のタンク・設備・建物等に噴霧状水を散水して冷却する。

### 消火剤

粉末、炭酸ガス、乾燥砂、泡

---

## [漏出時の措置]

- ・床面にこぼれた場合は、ただちにウエス等で拭き取り、空容器に回収する。
  - ・少量の場合は、おが屑・土砂・吸着マット等で吸着させ空容器に回収する。残りは、多量の水で洗い流す。
  - ・大量の場合は、土砂等で漏出場所を囲い出来るだけ空ドラム等に回収する。処理後は多量の水で洗い流す。この時、漏出液が河川、水路等に排出されないよう厳重に監視する。
  - ・周囲に裸火、高温の着火源となるものがあるときは、速やかに取除く。
  - ・回収措置後、表面が滑りやすいときは洗剤を用いて洗い流す。
- 

## [取扱い及び保管上の注意]

### 取扱い

- ・保護メガネを着用する。本品の取扱いにより皮膚が発赤するアレルギー性体質者は、不浸透性保護手袋を着用する。
- ・風下又は局所排気装置のある場所で取扱う。
- ・漏れ、あふれ、飛散しないようにする。
- ・容器は、取扱いの都度、密閉する。
- ・ホース、配管等の先端は、液切れを十分にし、ぼた落ちがないように管理する。
- ・作業環境の許容濃度は設定されていないが、臭気を感じない程度に管理する。

### 保管

- ・ボイラー等の裸火、高温な熱源付近には置かない。
  - ・保管時の温度は、なるべく5以下あるいは40以上とならないようにする。
  - ・容器は直射日光を避け、冷暗所に貯蔵し、密閉して空気の接触を避ける。
- 

## [暴露防止措置]

管理濃度 設定されていない。

許容濃度 日本産業衛生学会 : 設定されていない。

### 設備対策

- ・取扱いについては、出来るだけ密閉された装置、機器を使用する。
- ・局所排気、全体換気装置を用いて作業環境を良くする。
- ・取扱場所の近くに洗浄及び身体洗浄を行う為の設備を設置する。

保護具	呼吸用保護具	:	着用が好ましい	(簡易マスク)
	保護眼鏡	:	"	(普通眼鏡型、ゴーグル型)
	保護手袋	:	"	(不浸透性手袋)
	保護衣	:	"	(長袖作業衣等)

---

[物理/化学的性質]

外観等 各色液状エマルジョン（ライトグレー、グリーン）

比重 約 1.3 程度(25 代表値)

沸点 約 100

融点 約 0

粘度 約 5,000cps(25 )

---

[危険性情報（安定性・反応性）]

引火点 : なし

発火点 : なし

発火性 : なし

可燃性 : なし

酸化性 : なし

自己反応性、爆発性 : なし

安定性、反応性 : 通常の条件では、安定。

---

[有害性情報]（人についての症例、疫学的情報を含む）

現在のところ知見なし。

---

[環境影響情報]

現在のところ知見なし。

---

[廃棄上の注意] 廃棄する場合は少量ずつ注意しながら焼却する。

[取扱い及び保管上の注意]の項の記載事項による。

---

[輸送上の注意]

消防法 該当しない。

積載方法 容器の漏れ、破損のないことを確認し、転倒、落下等がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

混載禁止 特に消防法では記載なし。

---

[適用法規]

火薬類取締法 該当しない。

高圧ガス保安法 該当しない。

消防法 該当しない。

労働安全衛生法

危険物 該当しない。

通知対象物 該当しない。

有機溶剤中毒予防規則 該当しない。

特定化学物質等障害予防規則 該当しない。

労働基準法 該当しない。

毒物劇物取締法 該当しない。

船舶安全法 該当しない。

海防法 該当しない。

輸出貿易管理法 該当しない。

化学物質管理促進法（PRTR 法） 該当しない。

---

[その他] 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。記載内容のうち、含有量、物理化学的性質などの値は保証値ではありません。また、注意事項は通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点のご配慮をお願い致します。

---

以上